12 環境影響評価準備書からの記載事項の修正の概要と理由

12 環境影響評価準備書からの記載事項の修正の概要と理由

環境影響評価準備書の記載事項から評価書において修正した事項について、修正箇所、内容、理由等を以下に示す。

なお、誤字等の軽微な修正や、図表番号の変更等については割愛した。

「2.対象事業の名称、種類、目的及び内容」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
2-7 ～ 2-10	図 2.4.5(1)～(4)	記載なし	各階平面図を追加した。	「知事意見統括的事項 5」に対応して、図 2.4-11 に浸水深を示した断面図を追加した。この断面図における電気室等の重要な部屋の位置を分かりやすく説明するために各階平面図を追加した。
2-12	2.4.5 造成計画	ただし、盛土をすることにより圧密沈下が起こることが懸念されるため、周辺に影響がない高さでの盛土造成を行うこととする。	ただし、盛土をすることにより圧密沈下が起こることが懸念されるため、周辺に影響がない高さでの盛土造成を行うこととする。周辺に影響がない高さとは現況地盤から 0.9～1.7m程度を想定しているが、今後実施する地盤解析結果により決定するものとする。	「知事意見統括的事項 5」に対応して、盛土高さの考え方を追記した。
2-19	(3)余熱利用	次期ごみ処理施設においては、ごみを焼却処理するだけではなく、ごみが持つ熱エネルギーを積極的に利用し、発電等を行う。	次期ごみ処理施設においては、ごみを焼却処理するだけではなく、ごみが持つ熱エネルギーを積極的に利用し、発電 及び管理棟の浴場での余熱利用を行う。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、発電以外の余熱利用について説明を追記した。
2-23	2.4.13 浸水対策	盛土造成により地盤面をかさ上げするとともにプラットホームや電気室等の重要な部屋は最大規模の浸水水位以上に設置することとする。また、最大規模の浸水水位以下にある出入口部は防水シャッターや防水扉を設置し、極力、水の侵入を防ぐこととする。	盛土造成 (盛土高さは現況地盤から 0.9～1.7m程度とするが、今後の地盤解析結果により決定する) により地盤面をかさ上げするとともにプラットホームや電気室等の重要な部屋は最大規模の浸水水位以上に設置することとする。また、最大規模の浸水水位以下にある出入口部は防水シャッターや防水扉を設置し、極力、水の侵入を防ぐことと し、1 階に設置する機器については、稼働不能とならない設計を検討することとする。 なお、最大規模の浸水深さと図 2.4-4(1)～(4)に示す立面図及び図 2.4-5(1)～(4)に示す各階平面図との関係を図 2.4-11 に示す。	「知事意見統括的事項 5」に対応して、盛土高さの考え方を追記した。また、各階立面図及び浸水深を示した断面図を追加した。
2-24	図 2.4-11	記載なし	想定最大規模浸水深と施設の断面図を追加した。	「知事意見統括的事項 5」に対応して、図 2.4-11 に浸水深を示した断面図を追加した。

「3.対象事業が実施されるべき区域及びその周囲の概況」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
3-34	図 3.1-15 出典	「日本の活断層」(1995 年活断層研究会)	「新編 日本の活断層」(1991年活断層研究会)	「知事意見統括的事項 4」に対応して、資料名、出典年次を修正した。

「8.調査等(調査、予測及び評価)の結果」

「8.1 大気質」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.1-24	表 8.1-13	下表参照	下表参照	「知事意見統括的事項 4」に対応して、「資料編 資料 1-10 逆転層突き抜け判定」を再整理した結果により逆転層出現状況の表を修正した。

準備書記載事項

表 8.1-13 逆転層区分出現状況(指定高度 50m)

季節	逆転層区分	出現回数			出現頻度		
		全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間
通年	下層逆転	62	1	61	15.8%	0.5%	29.0%
	全層逆転	115	7	108	29.3%	3.8%	51.4%
	上層逆転	52	42	10	13.3%	23.1%	4.8%
	逆転なし	163	132	31	41.6%	72.5%	14.8%
冬季	下層逆転	20	0	20	20.4%	0.0%	35.7%
	全層逆転	26	2	24	26.5%	4.8%	42.9%
	上層逆転	12	9	3	12.2%	21.4%	5.4%
	逆転なし	40	31	9	40.8%	73.8%	16.1%
春季	下層逆転	7	0	7	7.1%	0.0%	14.3%
	全層逆転	39	4	35	39.8%	2.2%	16.7%
	上層逆転	16	15	1	16.3%	8.2%	0.5%
	逆転なし	36	30	6	36.7%	16.5%	2.9%
夏季	下層逆転	27	1	26	27.6%	0.5%	53.1%
	全層逆転	11	1	10	11.2%	0.5%	20.4%
	上層逆転	5	2	3	5.1%	1.1%	6.1%
	逆転なし	55	45	10	56.1%	24.7%	20.4%
秋季	下層逆転	8	0	8	8.2%	0.0%	14.3%
	全層逆転	39	0	39	39.8%	0.0%	69.6%
	上層逆転	19	16	3	19.4%	8.8%	5.4%
	逆転なし	32	26	6	32.7%	14.3%	10.7%

評価書記載事項

表 8.1-13 逆転層区分出現状況(指定高度 50m)

季節	逆転層区分	出現回数			出現頻度		
		全日	昼間	夜間	全日	昼間	夜間
通年	下層逆転	63	1	62	16.1%	0.5%	29.5%
	全層逆転	104	9	95	26.5%	5.0%	45.2%
	上層逆転	55	41	14	14.0%	22.5%	6.7%
	逆転なし	170	131	39	43.4%	72.0%	18.6%
冬季	下層逆転	20	0	20	20.4%	0.0%	35.7%
	全層逆転	27	2	25	27.6%	4.8%	44.6%
	上層逆転	11	9	2	11.2%	21.4%	3.6%
	逆転なし	40	31	9	40.8%	73.8%	16.1%
春季	下層逆転	6	0	6	6.1%	0.0%	12.2%
	全層逆転	33	4	29	33.7%	8.2%	59.2%
	上層逆転	22	16	6	22.4%	32.6%	12.2%
	逆転なし	37	29	8	37.8%	59.2%	16.4%
夏季	下層逆転	23	1	22	23.5%	2.0%	44.9%
	全層逆転	11	1	10	11.2%	2.0%	20.4%
	上層逆転	4	2	2	4.1%	4.1%	4.1%
	逆転なし	60	45	15	61.2%	91.9%	30.6%
秋季	下層逆転	14	0	14	14.3%	0.0%	25.0%
	全層逆転	33	2	31	33.7%	4.8%	55.4%
	上層逆転	18	14	4	18.3%	33.3%	7.1%
	逆転なし	33	26	7	33.7%	61.9%	12.5%

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.1-52	2)予測時期	工事機械の稼働による環境影響が最大となる時期とし、工事機械の稼働に伴う窒素酸化物及び粒子状物質の排出量が最も多い工事開始から 25 か月目を含む 1 年間とした。	工事機械の稼働による環境影響が最大となる時期とし、工事機械の稼働に伴う窒素酸化物及び粒子状物質の排出量が最も多い工事開始 後 15～26 か月の 12 か月間 とした。	県関係課からの意見に対応して、工事機械の影響について予測条件の見直しを行った。準備書では影響が最大となる 1 か月の稼働台数を 12 か月連続稼働という条件としたが、条件が過大と考えられたため、影響が最大となる 12 か月間の稼働台数を予測条件とした。
8.1-57	a.工事機械の配置	工事工程から工事機械の稼働台数がもっとも多く、影響が大きくなると考えられるのは、工事開始から 25 か月目であることから、発生源(工事機械の配置)は、それぞれの工種に応じた配置とした。	工事工程から工事機械の稼働台数がもっとも多く、影響が大きくなると考えられる 12 か月間は、工事開始後 15～26 か月目である。このため、発生源(工事機械の配置)は、この間に稼働する工事機械に応じた配置とした。時期の設定は資料編(資料 1-12)に示した。	同上
8.1-58	b.排出強度	予測計算は年平均値を求めることから稼働台数の最大の時期(25 か月目)における稼働台数が一年間稼働すると仮定した。年間稼働日数は 264 日(22 日/月)とした。	予測計算は年平均値を求めることから 排出強度が最大となる 12 か月間(15～26 か月目)の月平均排出強度を求めて設定した。	同上
8.1-58	表 8.1-45	次ページ表参照	次ページ表参照	同上

準備書記載事項

表 8.1-45 工事機械の種類、台数及び大気汚染物質排出量

予測時期	工種	機種	規格	定格出力 (kW)	燃料消費率 (L/kW・h)	月間稼働台数 (台/月)	窒素酸化物排出量 (m^3/月)	粒子状物質排出量 (kg/月)
工事開始19～21ヵ月目	工場棟本体工事	ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	25t	162	0.088	22	23.6	1.4
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	50t	249	0.088	44	72.5	4.2
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	135	0.076	22	17.0	1.0
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	200t	216	0.076	22	27.2	1.6
		ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.4m^3	64	0.153	22	16.2	1.4
		ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	71	0.037	22	4.3	0.4
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車	4.5m^3	243	0.495	440	248.7	14.4
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車	85m^3	166	0.078	44	42.8	2.5
	プラント工事	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	350t	320	0.076	22	40.2	2.3
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	135	0.076	22	17.0	1.0
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	25t	162	0.088	44	47.2	2.7
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	50t	249	0.088	22	36.2	2.1
		ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	71	0.037	22	4.3	0.4

注）定格出力、燃料消費率は、「令和元年度版 建設機械等損料表」（令和元年(一社)日本建設機械施工協会）による。
稼働日数は22日/月、稼働時間は8時間/日とした。
ただし、コンクリートミキサー車は工事区域内の滞在時間を1日1台当たり2時間とした。

評価書記載事項

表 8.1-45 工事機械の種類、台数及び大気汚染物質排出量

予測時期	工種	機種	規格	定格出力 (kW)	燃料消費率 (L/kW・h)	稼働月数 (月)	延べ稼働日数 (台日/年)	窒素酸化物排出強度 (g/台/時)	粒子状物質排出強度 (g/台/時)
工事開始後15～26ヵ月目	仮設工事	ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	25t	162	0.088	1	22	274.2	11.2
		ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.4m^3	64	0.153	1	44	188.3	7.7
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車	4.5m^3	243	0.495	1	44	2319.9	65.7
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車	85m^3	166	0.078	1	22	249.7	7.1
	工場棟本体工事	ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	25t	162	0.088	12	264	275.0	7.8
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	50t	249	0.088	12	528	422.6	12.0
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	135	0.076	12	264	197.9	5.6
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	200t	216	0.076	12	264	316.6	9.0
		ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.4m^3	64	0.153	1	22	188.3	7.7
		ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.7m^3	104	0.175	11	242	350.0	14.3
		ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	71	0.037	12	264	50.5	2.1
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車	4.5m^3	243	0.495	12	5390	2319.9	65.7
		ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車	85m^3	166	0.078	12	528	249.7	7.1
	プラント工事	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	350t	320	0.076	3	66	469.1	13.3
		ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	135	0.076	2	44	197.9	5.6
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	25t	162	0.088	3	132	275.0	7.8
		ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝ	50t	249	0.088	3	66	422.6	12.0
		ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	71	0.037	3	66	50.5	2.1

注）定格出力、燃料消費率は、「令和元年度版 建設機械等損料表」（令和元年(一社)日本建設機械施工協会）による。
稼働日数は22日/月、稼働時間は8時間/日とした。
ただし、コンクリートミキサー車は工事区域内の滞在時間を1日1台当たり1時間とした。

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.1-59	5)予測結果	工事区域外の最大着地濃度は、二酸化窒素が0.019ppm で寄与率は68.0％、浮遊粒子状物質が 0.0042mg/m^{3}で寄与率は23.2％であった。	工事区域外の最大着地濃度は、二酸化窒素が0.0046ppm で寄与率は33.8％、浮遊粒子状物質が 0.0026mg/m^{3}で寄与率は15.7％であった。	P.8-1-57～58 に示す条件で見直しを行った結果、予測結果を修正した。
8.1-59	表 8.1-48(1)～(2)	下表参照	下表参照	同上
8.1-60	図 8.1-16(1)	次ページ図参照	次ページ図参照	同上
8.1-61	図 8.1-16(2)	P.12-7 図参照	P.12-7 図参照	同上

準備書記載事項

表8.1-48(1)　工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度の予測結果(年平均値)

(単位:ppm)

予測地点	工事機械寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度予測結果(A+B)	寄与率(%)(A/(A+B))
最大着地濃度地点	0.019	0.009	0.0281	68.0

表8.1-48(2)　工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の予測結果(年平均値)

(単位:mg/m^3)

予測地点	工事機械寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度予測結果(A+B)	寄与率(%)(A/(A+B))
最大着地濃度地点	0.0042	0.014	0.0182	23.2

評価書記載事項

表 8.1-48 (1)　工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度の予測結果 (年平均値)

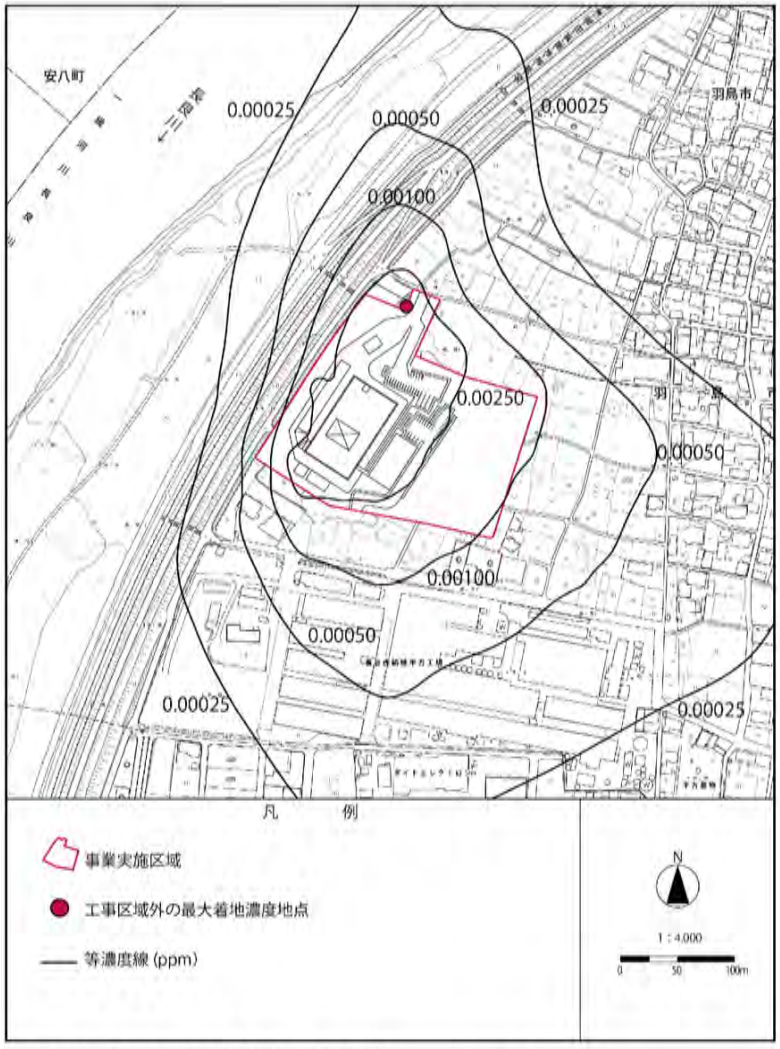
(単位:ppm)

予測地点	工事機械寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度予測結果(A+B)	寄与率(%)(A/(A+B))
最大着地濃度地点	0.0046	0.009	0.0136	33.8

表8.1-48 (2)　工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の予測結果(年平均値)

(単位:mg/m^3)

予測地点	工事機械寄与濃度(A)	バックグラウンド濃度(B)	環境濃度予測結果(A+B)	寄与率(%)(A/(A+B))
最大着地濃度地点	0.0026	0.014	0.0166	15.7

評価書記載事項	準備書記載事項
 この地図は、「羽島市都市計画基本図」（羽島市）を基に作成した。 図8.1-16(1)　工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度（年平均値）	 この地図は、「羽島市都市計画基本図」（羽島市）を基に作成した。 図8.1-16(1)　工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度（年平均値）

評価書記載事項	準備書記載事項
 この地図は、「羽島市都市計画基本図」(羽島市)を基に作成した。 図8.1-16(2)　工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度(年平均値)	 この地図は、「羽島市都市計画基本図」(羽島市)を基に作成した。 図8.1-16(2)　工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度(年平均値)

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.1-68	5) 予測結果	最大着地濃度(年平均値)は、St.1 においては、二酸化窒素濃度が 0.0000411ppm で寄与率は 2.3%、浮遊粒子状物質濃度が 0.000009mg/m^3 で寄与率は 0.5%であった。St.2 においては、二酸化窒素濃度が 0.0000002ppm で寄与率は 0.0%、浮遊粒子状物質濃度が 0.000003mg/m^3 で寄与率は 0.0%であった。	最大着地濃度(年平均値)は、St.1 においては、二酸化窒素濃度が 0.000211ppm で寄与率は 2.3%、浮遊粒子状物質濃度が 0.000063mg/m^3 で寄与率は 0.5%であった。St.2 においては、二酸化窒素濃度が 0.000002ppm で寄与率は 0.0%、浮遊粒子状物質濃度が 0.000003mg/m^3 で寄与率は 0.0%であった。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、最大着地濃度について、表 8.1-51(1)及び表 8.1-51(2)記載の予測結果と整合するよう、記述を修正した。
8.1-93	表 8.1-69	次ページ表参照	次ページ表参照	「知事意見統括的事項 4」に対応して、「資料編 資料 1-10 逆転層突き抜け判定」を再整理した結果により逆転層出現状況を修正し、それに対応する風速及び逆転層高さの予測結果に修正した。 なお、最も影響が多くなる条件については変更がないため、予測・評価結果の修正はない。
8.1-97	表 8.1-77	次ページ表参照	次ページ表参照	「知事意見統括的事項 4」に対応して、廃棄物運搬車両台数を修正した。 なお、実際に予測計算に用いた交通量は修正後の台数であるため、予測・評価結果の修正はない。

準備書記載事項

表 8.1-69 廃棄物焼却施設の稼働による上層逆転層発生時の最大着地濃度予測結果

大気安定度	風速	逆転層下限高さ	最大着地濃度				最大着地濃度出現距離
			二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	塩化水素	
	m/s	m	ppm	ppm	mg/m³	ppm	m
A	0.7	150	0.0063	0.0071	0.0032	0.0122	520
	1.5	250	0.0017	0.0019	0.0008	0.0032	530
		400	0.0016	0.0019	0.0008	0.0032	520
	2.5	200	0.0014	0.0015	0.0007	0.0026	460
	3.5	400	0.0011	0.0013	0.0006	0.0022	410
	5	250	0.0009	0.0011	0.0005	0.0018	390
B	0.7	200	0.0027	0.0030	0.0013	0.0051	1,340
	1.5	100	0.0051	0.0058	0.0026	0.0099	530
		200	0.0014	0.0016	0.0007	0.0027	1,080
	2.5	100	0.0026	0.0030	0.0013	0.0051	690
		200	0.0011	0.0012	0.0005	0.0021	780
		400	0.0011	0.0012	0.0005	0.0021	770
	3.5	150	0.0010	0.0012	0.0005	0.0020	790
		400	0.0009	0.0011	0.0005	0.0018	690
	5	150	0.0008	0.0009	0.0004	0.0016	660
		250	0.0008	0.0009	0.0004	0.0015	630

評価書記載事項

表 8.1-69 廃棄物焼却施設の稼働による上層逆転層発生時の最大着地濃度予測結果

大気安定度	風速	逆転層下限高さ	最大着地濃度				最大着地濃度出現距離
			二酸化硫黄	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	塩化水素	
	m/s	m	ppm	ppm	mg/m³	ppm	m
A	0.7	150	0.0063	0.0071	0.0032	0.0122	520
	1.5	250	0.0017	0.0019	0.0008	0.0032	530
		350	0.0016	0.0019	0.0008	0.0032	520
		400	0.0016	0.0019	0.0008	0.0032	520
		450	0.0016	0.0019	0.0008	0.0032	520
	2.5	200	0.0014	0.0015	0.0007	0.0026	460
		250	0.0013	0.0002	0.0007	0.0026	450
		450	0.0013	0.0002	0.0007	0.0026	450
	3.5	400	0.0011	0.0013	0.0006	0.0022	410
	5	250	0.0009	0.0011	0.0005	0.0018	390
B	0.2	350	0.0007	0.0008	0.0004	0.0014	10
	1.5	150	0.0021	0.0024	0.0010	0.0040	1,000
		200	0.0014	0.0016	0.0007	0.0027	1,080
		300	0.0013	0.0002	0.0006	0.0024	920
	2.5	150	0.0013	0.0002	0.0007	0.0026	910
		300	0.0011	0.0002	0.0005	0.0021	770
		450	0.0011	0.0002	0.0005	0.0021	770

準備書記載事項

表8.1-77 予測に用いた交通量

（単位：台/日）

地　点	廃棄物運搬車両			一般車両			合計		
	大型車	小型車	合　計	大型車	小型車	合　計	大型車	小型車	合　計
St.1	89	60	149	293	4,550	4,843	382	4,610	4,992
St.2	89	60	149	48	587	635	137	647	784

評価書記載事項

表8.1-77 予測に用いた交通量

（単位：台/日）

地　点	廃棄物運搬車両			一般車両			合計		
	大型車	小型車	合　計	大型車	小型車	合　計	大型車	小型車	合　計
St.1	360	120	480	293	4,550	4,843	653	4,670	5,323
St.2	360	120	480	48	587	635	408	707	1,115

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.1-102	ア 環境への影響の回避・低減に係る評価	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、最大の工事機械稼働条件が1年間連続する影響の危険側を考慮した条件で予測した。この予測結果の場合でも、工事機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与濃度は最大で、二酸化窒素で 0.019ppm、浮遊粒子状物質で 0.0042mg/m^{3}であった。	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、排出量が最大となる1年間の条件で予測した。この予測結果の場合でも、工事機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与濃度は最大で、二酸化窒素で 0.0046ppm、浮遊粒子状物質で 0.0026mg/m^{3}であった	県関係課からの意見に対応して、建設機械の影響について予測条件の見直しを行った。 準備書では影響が最大となる 1 か月の稼働台数を12か月連続稼働という条件としたが、条件が過大と考えられたため、影響が最大となる12 か月間となる期間の稼働台数を条件として予測を行い、評価結果を修正した。
8.1-103	(ア)二酸化窒素	影響の危険側を考慮した予測においても、日平均値の年間98%値は 0.059ppm であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	影響の危険側を考慮した予測においても、日平均値の年間98%値は 0.036ppm であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	同上
8.1-103	表 8.1-87	下表参照	下表参照	同上
8.1-103	(イ)浮遊粒子状物質	影響の危険側を考慮した予測においても、日平均値の 2%除外値は 0.044mg/m^{3}であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	影響の危険側を考慮した予測においても、日平均値の 2%除外値は 0.034mg/m^{3}であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	同上
8.1-103	表 8.1-88	次ページ表参照	次ページ表参照	同上

準備書記載事項

表8.1-87　工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度の評価結果(長期平均濃度)

予測地点	予測結果(ppm)		環境保全目標	適合状況
	年平均値	日平均値の年間98%値		
最大着地濃度地点	0.0281	0.059	日平均値の年間98%値が0.04～0.06ppm以下	○

注)適合状況は「○:環境保全目標を満足する、×:環境保全目標を満足しない」を示す。

評価書記載事項

表 8.1-87 工事機械の稼働に伴う二酸化窒素濃度の評価結果 (長期平均濃度)

予測地点	予測結果(ppm)		環境保全目標	適合状況
	年平均値	日平均値の年間98%値		
最大着地濃度地点	0.0136	0.036	日平均値の年間98%値が0.04～0.06ppm以下	○

注)適合状況は「○:環境保全目標を満足する、×:環境保全目標を満足しない」を示す。

準備書記載事項

表8.1-88　工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の評価結果（長期平均濃度）

予測地点	予測結果（mg/m³）		環境保全目標	適合状況
	年平均値	日平均値の2%除外値		
最大着地濃度地点	0.0182	0.044	日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下	○

注）適合状況は「○：環境保全目標を満足する、×：環境保全目標を満足しない」を示す。

評価書記載事項

表 8.1-88 工事機械の稼働に伴う浮遊粒子状物質濃度の評価結果（長期平均濃度）

予測地点	予測結果（mg/m³）		環境保全目標	適合状況
	年平均値	日平均値の2%除外値		
最大着地濃度地点	0.0166	0.034	日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下	○

注）適合状況は「○：環境保全目標を満足する、×：環境保全目標を満足しない」を示す。

「8.2　水質」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.2-6	ア　平常時	その他はすべての調査時期及び項目で環境基準値を満足していた。	また、水素イオン濃度が夏季の St.1 及び秋季の St.2 で環境基準値を上回っていた。 その他はすべての調査時期及び項目で環境基準値を満足していた。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、水質の環境基準値の超過について記述を修正した。

「8.5 振動」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.5-5	1) 環境振動	環境振動の時間率振動レベルの 80%レンジ上端値（L_{10}）は、St.1 が昼間：35dB、夜間:30 未満、St.2 が昼間:41dB、夜間:30 未満、St.3 が昼間:35dB、夜間:30 未満であり、すべての地点で振動感覚閾値を下回った。	環境振動の時間率振動レベルの 80%レンジ上端値（L_{10}）は、St.1 が昼間：35dB、夜間:30 未満、St.2 が昼間：41dB、夜間：32dB、St.3 が昼間:35dB、夜間:31dB であり、すべての地点で振動感覚閾値を下回った。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、時間率振動レベルの 80%レンジ上端値について、表 8.5-3 記載の調査結果と整合するよう、記述を修正した。
8.5-5	2) 道路交通振動	平日における時間率振動レベルの 80%レンジ上端値（L_{10}）は、St.1 が昼間：36.3dB、夜間：30 未満、St.2 が昼間：50.1dB、夜間:36.8dB であり、すべての地点で要請限度を下回っていた。 休日における時間率振動レベルの 80%レンジ上端値(L10)は、St.1 が昼間：33.0dB、夜間：30 未満、St.2 が昼間：35.9dB、夜間:36.1dB であり、すべての地点で要請限度を下回っていた。	平日における時間率振動レベルの 80%レンジ上端値（L_{10}）は、St.1 が昼間：36.3dB、夜間：32.4ｄB、St.2 が昼間：50.1dB、夜間:36.8dB であり、すべての地点で要請限度を下回っていた。 休日における時間率振動レベルの 80%レンジ上端値（L_{10}）は、St.1 が昼間：33.0dB、夜間：30.7ｄB、St.2 が昼間：35.9dB、夜間:36.1dB であり、すべての地点で要請限度を下回っていた。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、時間率振動レベルの 80%レンジ上端値について、表 8.5-4 記載の調査結果と整合するよう、記述を修正した。

「8.8 廃棄物」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
8.8-2	5) 予測結果	年間発生量は、ストーカ式焼却炉の場合、3,721t/年、流動床式焼却炉の場合、1,830t/年、シャフト炉式ガス化溶融炉の場合、2,737t/年、流動床式ガス化溶融炉の場合、3,139t/年と予測される。	年間発生量は、ストーカ式焼却炉の場合、3,721t/年、流動床式焼却炉の場合、1,830t/年、シャフト炉式ガス化溶融炉の場合、2,737t/年、流動床式ガス化溶融炉の場合、2,263t/年と予測される。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、流動床式ガス化溶融炉の場合の予測値について、表 8.8-2 記載の予測値と整合するよう、記述を修正した。

「8.10 電波障害」について

「知事意見　個別事項（電波障害）」に対応して電波障害の予測計算式等については、根拠及び出典等を明記するとともに、予測・評価の手順を以下に示すとおり再整理した。

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項
8.10-1	(3) 調査地点	調査地点は、電波の方向とごみ処理施設の形状、住居の状況を考慮したテレビジョン電波の受信障害範囲の机上検討により図 8.10-1 に示す 7 地点を設定した。	調査地点は、図 8.10-3 に示す手順により、電波の方向とごみ処理施設の形状、住居の状況を考慮したテレビジョン電波の受信障害範囲の机上検討 をしたうえで、図 8.10-1 に示す 7 地点を設定した。
8.10.6	1) 予測手順	記載なし	「建造物障害予測の手引き 地上デジタル放送 2005.3)」(一般社団法人日本 CATV 技術協会)に示される予測手順(図 8.10-3)を追記した。
8.10-7	ア 受信機入力端子電圧予測式	記載なし	「建造物障害予測の手引き 地上デジタル放送 2005.3)」(一般社団法人日本 CATV 技術協会)に示される受信機入力端子電圧予測式を追記した。
8.10-8	イ SLp、DUp の設定方法	記載なし	「建造物障害予測の手引き 地上デジタル放送 2005.3)」(一般社団法人日本 CATV 技術協会)に示される SLp、DUp設定方法及びその判定に用いる図(図 8.10-4)を追記した。
8.10-8	ウ 障害発生有無の判定方法	記載なし	SLp、DUpに基づく障害発生有無の判定方法を追記した。
8.10-8	エ 障害範囲予測式 a) 遮蔽障害	テレビ電波受信障害予測は、ごみ処理施設建物の位置・大きさとテレビ電波の方向を考慮し、予測計算式(NHK)を用いて受信障害範囲の距離と幅を求めた。 予測計算式は次のとおりである。 遮蔽障害予測計算式による障害距離 D_2 及び障害幅 W_0 は次式で求められる。	テレビ電波の遮蔽障害は、ごみ処理施設建物の位置・大きさとテレビ電波の方向を考慮し、「建造物障害予測の手引き 地上デジタル放送 2005.3)」(一般社団法人日本 CATV 技術協会)に示される実用式を用いて予測した。 遮蔽障害範囲 D_2、遮蔽損失 SL 及び障害幅 W_0 は以下の式により求められる。

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項
8.10-8	遮蔽障害予測式	$D_2 \fallingdotseq \frac{1}{\frac{1}{d'_2}+\frac{1}{d_{20}}}$ $= \frac{1}{\frac{6\left(\frac{E_X{}^2 W}{H-h_2}+\frac{16(H-h_2)}{W}\right)\times 10^{(SL/10)}}{fW(H-h_2)}+\frac{h_1-H}{(H-h_2)d_1}}$ $W_0 = (d_1+d_2)/d_1 \times W + 1/2 \times D_2{}^{(1/2)}$ 但し、 d'_2 ：電波が水平に到来したと仮定した時の遮蔽障害距離(m) d_{20} ：光学的な遮蔽距離(m) W ：建造物実効横幅(m) H ：建造物の高さ(m) h_1 ：送信アンテナ高(m) h_2 ：受信アンテナ高(m) f ：受信周波数(MHz) SL ：遮蔽損失(dB) d_1 ：送信点と建造物間の距離(m) E_X ：$=E_{X1}\times E_{X2}$ E_{X1} ：建造物頂部と受信点での直接波と大地反射波の位相合成率の比 E_{X2} ：受信点に建造物頂部を経由してくる電波と建造物がないときの電波の都市減衰率の比	$D_2 = \frac{1}{\frac{1}{d'_2}+\frac{1}{d_{20}}}$ $SL = -20\log_{10}\sqrt{\left(2\cdot\left\lvert\psi\left(x_{w/2}\right)\right\rvert\right)^2+\left(E_X\cdot\left\lvert\psi\left(x_{H-h2}\right)\right\rvert\right)^2}$ $W_0 = \frac{d_1+d_2}{d_1}\cdot W + \frac{\sqrt{D_2}}{2}$ ただし、 D_2 ：遮蔽障害予測距離(m) SL ：遮蔽損失(dB) W_0 ：障害幅(m) d'_2 ：電波が水平に到来したときの遮蔽障害予測距離(m) d_{20} ：ビル高に対応する光学的な見通し距離(m) $d_{20} = \frac{H-h_2}{h_1-H}d_1$ H ：建造物の高さ(m) W ：建造物実効横幅(m) d_1 ：送信点と建造物間の距離(m) d_2 ：建造物中心後方における任意の距離(m) h_1 ：送信アンテナ高(m) h_2 ：受信アンテナ高(m) $E_X = E_{X1}\cdot E_{X2}$ E_{X1} ：任意の距離d_2の地点で求めた建造物頂部と受信アンテナ高のそれぞれの位置における位相合成率の比 E_{X2} ：建造物頂部と受信アンテナ高のそれぞれの位置における都市減衰率の比 $\left\lvert\psi\left(x_{w-h2}\right)\right\rvert$ ：建造物頂部を回折してくる電波のフレネル積分近似解 $\left\lvert\psi\left(x_{w/2}\right)\right\rvert$ ：建造物側部を回折してくる電波のフレネル積分近似解
8.10-9	b)反射障害	反射障害予測計算式による反射方向中心線上の地点における受信アンテナ端子でのDU比(希望波に対する不要波の比率)及び、その地点での障害幅W_0は次式で求められる。	テレビ電波の反射障害は、ごみ処理施設建物の位置・大きさとテレビ電波の方向を考慮し、「建造物障害予測の手引き 地上デジタル放送 2005.3)」(一般社団法人日本CATV技術協会)に示される実用式を用いて予測した。 反射方向中心線上の地点における受信アンテナ端子でのD/U(希望波に対する不要波の比率)は以下の式により求められる。
8.10-9	反射障害予測式	$D/U = (D_1 - D_2) + \eta_e + D_{(\theta ANT)} + K_{(h0)} - 20\log_{10}(E_{x1}\times A_n \times B_{e0} \times 2S_n \times \beta_v \times E_{xd})$ $\frac{W_0}{2} = \frac{W_0}{2}\times 10^{((\eta e - \eta e0)/20)}$ 但し、ηe ：反射面の実効的な反射損(dB) $D_{(\theta ANT)}$ ：受信アンテナの指向性(dB) $K_{(h0)}$ ：反射面への入射波に対する都市減衰(dB) E_{X1} ：反射面と受信アンテナに到来する電波の位相合成率の比 A_n ：反射波の都市減衰、反射面の凸凹を考慮した水平入射電波に対する反射面縦幅のフレネル積分値 B_{e0} ：反射方向中心線上からみた反射面横幅のフレネル積分値 $2S_n$ ：都市減衰を考慮した反射波の大地反射波による位相合成率 β_v ：反射面に入射する電波の仰角による反射面垂直指向性の補正値 $w_0/2$ ：反射面の反射損を0dBと仮定した時の障害片幅	$D/U = (D_2 - D_1) + K(h_0) + \eta_e + D(\theta)_{ant} - 20\log_{10}(E_{x1}\cdot 2S_n \cdot \beta_v \cdot A_n \cdot B_{e0} \cdot E_{xd})$ ただし、 D/U ：希望波に対する不要波の比率(dB) D_1 ：受信点方向における送信アンテナの指向性(dB) D_2 ：反射面方向における送信アンテナの指向性(dB) $K(h_0)$ ：反射面に入射する電波の都市減衰(dB) η_e ：反射面の凹凸や異なる材質の組合せを考慮した実効的な反射損失(dB) $D(\theta)_{ant}$ ：受信点周辺の配電線などの再放射作用を考慮した受信アンテナの指向性(dB) E_{X1} ：反射面及び受信アンテナに到来する電波の位相損失の比 $2S_n$ ：都市減衰と大地反射波を考慮した反射波の位相合成率 β_v ：反射面に入射する電波の仰角による反射面縦幅のフレネル積分値の補正値 A_n ：希望波と反射波の都市減衰、反射面の凹凸を考慮した水平入射電波に対する反射面縦幅のフレネル積分値 B_{e0} ：反射方向中心線上から見た反射面横幅のフレネル積分値 E_{xd} ：受信点に到来する希望波と反射波の伝搬距離差による電界強度比 $E_{xd} = \frac{\sqrt{d_1{}^2 + d_2{}^2 - 2d_1\cdot d_2\cdot \cos\left(2\theta_{h0}\right)}}{d_1+d_2}$ θ_{h0} ：反射面への水平入射角

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項
8.10-10	3)予測条件	受信障害の予測条件のうち、送信条件は表 8.10-4 のとおりであり、これらのテレビ電波による遮蔽障害、反射障害について予測する。	受信障害の予測条件のうち、送信条件は表 8.10-4のとおりである。
8.10-10	1) 机上検討による障害発生有無の判定	記載なし	机上検討による受信機入力端子電圧及びSLp・DUpの予測結果を表 8.10-6に示す。 この結果から、工場棟及び煙突により発生するおそれのある障害のうち、名古屋局、岐阜局すべての送信局に対し、遮蔽障害の発生目安となる遮蔽損失(SLp)が算出された。このため遮蔽障害が発生すると判定し、障害範囲を求めるために「8.10.1 調査」に示す調査を実施した。 反射障害については、名古屋局及び岐阜局のすべての送信局で反射障害発生の目安となる反射DU比(DUp)が0となった。一方、工場棟等から50～500mの距離におけるD/Uの机上検討結果は名古屋局の6送信局で21.7～22.8dB、岐阜局の2送信局で23.4～23.9dBであった。このため、D/UはDUpを上回り、反射障害は発生しないと予測する。
8.10-11	2) 遮蔽障害範囲	受信障害予測計算と電波状況の現地調査結果をもとにした電波障害予測結果は、図 8.10-3 に示すとおりである。 工場棟及び煙突により発生するおそれのある障害のうち、反射障害は発生しないと予測され、遮蔽障害については、名古屋局、岐阜局で発生すると予測する。 名古屋局の電波の遮蔽障害範囲は事業実施区域の西側に約 50mまでである。遮蔽範囲は大部分が堤防及び河川敷に広がっており、住居等は存在しない。岐阜局の電波の遮蔽障害範囲は事業実施区域の南西側に約 90m までであり、遮蔽範囲に有料老人ホームや工場が存在する。	机上検討により遮蔽障害が発生すると判定されたことから、電波状況の現地調査結果をもとに電波障害予測範囲を予測した。予測結果は、図8.10-5に示すとおりである。 名古屋局の電波の遮蔽障害範囲は事業実施区域の西側に約50mまでである。遮蔽範囲は大部分が堤防及び河川敷に広がっており、住居等は存在しない。岐阜局の電波の遮蔽障害範囲は事業実施区域の南西側に約90mまでであり、遮蔽範囲に有料老人ホームや工場が存在する。

「9 総合評価」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
9-3 左欄	○河川水質	調査結果は、夏季調査において雨水排水ルート(予定)地点でダイオキシン類が環境基準をわずかに上回った。その他はすべての時期及び項目で環境基準値を下回っていた。	調査結果は、夏季調査において雨水排水ルート(予定)地点でダイオキシン類が環境基準をわずかに上回った。その他は水素イオン濃度を除くすべての項目で環境基準値を下回っていた。	「知事意見統括的事項 4」に対応して、水質の環境基準値の超過について記述を修正した。
9-6 左欄	○工事機械の稼働 ＜年平均値＞	下表参照	下表参照	県関係課からの意見に対応して、建設機械の影響について予測条件の見直しを行った。準備書では影響が最大となる 1 か月の稼働台数を 12 か月連続稼働という条件としたが、条件が過大と考えられたため、影響が最大となる 12 か月間となる期間の稼働台数を条件として予測を行い、評価結果を修正した。
9-6 右欄	○工事機械の稼働 1)環境への影響の回避・低減に係る評価	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、予測結果によれば、工事機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与の程度は、最大で、二酸化窒素で 0.019ppm、浮遊粒子状物質で 0.0042mg/m^{3}であり環境影響の程度が小さいと判断される。	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、予測結果によれば、工事機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の寄与の程度は、最大で、二酸化窒素で 0.0046ppm、浮遊粒子状物質で 0.0026mg/m^{3}であり環境影響の程度が小さいと判断される。	同上
9-6 右欄	○工事機械の稼働 2)環境基準等との整合性に係る検討	二酸化窒素の日平均値の年間 98%値は 0.059ppm、浮遊粒子状物質の日平均値の 2%除外値は 0.044mg/m^{3}であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	二酸化窒素の日平均値の年間 98%値は 0.036ppm、浮遊粒子状物質の日平均値の 2%除外値は 0.034mg/m^{3}であり、大気質の環境保全に関する基準との整合性が図られている。	同上

準備書記載事項

〈年平均値〉

項目	寄与濃度の最大値	環境濃度
二酸化窒素(ppm)	0.019	0.0281(0.059)
浮遊粒子状物質(mg/m^3)	0.0042	0.0182(0.044)

※( )内の数字は日平均値の年間 98%値又は 2%除外値を示す。

評価書記載事項

〈年平均値〉

項目	寄与濃度の最大値	環境濃度
二酸化窒素(ppm)	0.0046	0.0136(0.036)
浮遊粒子状物質(mg/m^3)	0.0026	0.0166(0.034)

※( )内の数字は日平均値の年間 98%値又は 2%除外値を示す。

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
9-12 右欄	◆電波障害 〈工作物等の存在〉 ○改変後の土地及び工作物の存在	予測項目は、地上デジタルテレビ放送電波の建物による受信障害(遮蔽障害、反射障害)とした。予測は、ごみ処理施設建物の位置・大きさとテレビ電波の方向を考慮し、予測計算式を用いて受信障害範囲の距離と幅を求めた。	予測項目は、地上デジタルテレビ放送電波の建物による受信障害(遮蔽障害、反射障害)とした。予測は、ごみ処理施設建物の位置・大きさとテレビ電波の方向を考慮し、机上検討により障害範囲の有無を判定し、障害範囲が生じる場合には現地調査結果をもとに障害範囲を予測する方法とした。	「知事意見　個別事項(電波障害)」に対応して電波障害の予測計算式等については、根拠及び出典等を明記するとともに、予測・評価の手順を再整理した。

「資料編　資料 1-10　逆転層突き抜け判定」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
資料 1-161	上から 4 行目	判定の順序は以下のとおりである。 ① 上空気象の現地調査結果から、気温の逆転が発生している条件を抽出した(ただし、気温差が 0.1℃の場合は有意差ではないとみなした)。 ② ①で抽出した条件から、高度 50m 以上 500m未満に逆転層の下限が出現したものを抽出した。 ③ ②で抽出した条件について、本編 8.1-85 ページに示す計算式により排出ガスが逆転層を突き抜けるかどうかを判定(突き抜ける○、突き抜けない×)した。 ④ ③において逆転層を突き抜けないと判定された全ての条件を風速階級、大気安定度及び逆転層下限出現高度で類型化し、予測の対象条件とした。	判定の順序は以下のとおりである。 ① 上空気象の現地調査結果から、気温の逆転が発生している条件を抽出した(ただし、気温差が 0.1℃の場合は有意差ではないとみなした)。 ② ①で抽出した条件から、高度 50m 以上 500m未満に逆転層の下限が出現したものを抽出した。 二層以上の逆転層が出現していた場合には、最下層の逆転層を対象とした。ただし、二層以上の逆転層が連続していた場合には一層の逆転層とみなした。 ③ ②で抽出した条件について、本編 8.1-84 ページに示す計算式により排出ガスが逆転層を突き抜けるかどうかを判定(突き抜ける○、突き抜けない×)した。 ④ ③において逆転層を突き抜けないと判定された全ての条件を 表 1-10-1 に示す風速階級、大気安定度及び逆転層下限出現高度で類型化し、予測の対象条件とした。 (以下略)	「知事意見統括的事項 4」に対応して、二層以上の逆転層が出現していた場合の逆転層の判定条件を再整理した。
資料 1-162 ～ 163	表　1-10-2(1)～(2)	次ページ表参照	次ページ表参照	「知事意見統括的事項 4」に対応して、二層以上の逆転層が出現していた場合の逆転層の判定条件を再整理した。

準備書記載事項

表 1-10-1(1)逆転層突き抜け判定結果

出現季節	出現月日	出現時間	出現高度(m)		温度(℃)		層の厚さ(m)	ΔT:温度差(℃)	温位勾配(℃/m)	出現強度(℃/100m)	地上風速(m/s)	U:煙突頂部風速(60mの風	風速階級分類	大気安定度	出現高度(地上0m)	判定
			下限	上限	下限	上限								地上気象より	下限	突抜○,×
冬季	1月18日	3	100	150	4.0	4.2	50	0.2	0.00400	0.400	4.9	8.7	風速7	D	100.0	×
冬季	1月18日	21	250	300	1.8	2.0	50	0.2	0.00400	0.400	1.3	3.0	風速3	G	250.0	×
冬季	1月19日	3	50	200	2.9	3.6	150	0.7	0.00467	0.467	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×
冬季	1月19日	4	50	200	2.1	3.3	150	1.2	0.00800	0.800	0.5	1.1	風速2	G	50.0	×
冬季	1月19日	5	50	250	1.4	3.1	200	1.7	0.00850	0.850	2.5	4.5	風速5	D	50.0	×
冬季	1月19日	6	50	300	0.6	2.7	250	2.1	0.00840	0.840	2.6	5.9	風速5	G	50.0	×
冬季	1月19日	7	50	300	0.5	0.8	250	0.3	0.00120	0.120	2.1	4.8	風速5	G	50.0	×
冬季	1月19日	8	50	250	−0.1	2.8	200	2.9	0.01450	1.450	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×
冬季	1月19日	9	150	300	2.0	3.4	150	1.4	0.00933	0.933	0.6	0.9	風速1	C	150.0	×
冬季	1月19日	10	200	250	3.1	3.6	50	0.5	0.01000	1.000	1.5	2.0	風速3	AB	200.0	×
冬季	1月19日	21	50	100	6.5	6.9	50	0.4	0.00800	0.800	1.0	2.3	風速3	G	50.0	○
冬季	1月19日	24	50	250	4.9	6.0	200	1.1	0.00550	0.550	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×
冬季	1月20日	3	50	150	4.5	5.5	100	1.0	0.01000	1.000	1.0	2.3	風速3	G	50.0	×
冬季	1月20日	5	50	150	4.4	4.8	100	0.4	0.00400	0.400	0.6	1.1	風速2	D	50.0	○
冬季	1月20日	6	50	200	4.0	4.8	150	0.8	0.00533	0.533	1.3	2.3	風速3	D	50.0	×
冬季	1月20日	7	150	200	3.7	3.9	50	0.2	0.00400	0.400	1.1	2.0	風速2	D	150.0	×
冬季	1月20日	10	400	450	2.1	2.4	50	0.3	0.00600	0.600	1.9	3.4	風速4	D	400.0	×
冬季	1月20日	11	250	300	2.5	2.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.4	4.3	風速5	D	250.0	×
冬季	1月20日	12	400	450	2.8	3.1	50	0.3	0.00600	0.600	1.3	2.3	風速3	D	400.0	×
冬季	1月21日	5	50	100	2.5	2.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.4	4.6	風速5	F	50.0	○
冬季	1月21日	18	50	100	4.6	5.0	50	0.4	0.00800	0.800	3.1	5.5	風速5	D	50.0	○
冬季	1月22日	24	50	100	2.5	3.8	50	1.3	0.02600	2.600	1.3	2.6	風速3	E	50.0	○
冬季	1月23日	3	50	150	1.0	2.0	100	1.0	0.01000	1.000	0.6	1.4	風速2	G	50.0	×
冬季	1月23日	5	50	150	0.6	1.3	100	0.7	0.00700	0.700	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×
冬季	1月23日	6	50	100	0.2	1.0	50	0.8	0.01600	1.600	0.8	1.8	風速2	G	50.0	○
冬季	1月23日	7	50	200	0.3	1.4	150	1.1	0.00733	0.733	1.1	2.0	風速2	D	50.0	×
冬季	1月23日	8	50	150	−0.1	0.7	100	0.8	0.00800	0.800	0.5	0.9	風速1	D	50.0	○
冬季	1月23日	9	100	150	0.8	1.0	50	0.2	0.00400	0.400	1.4	3.2	風速4	G	100.0	×
冬季	1月23日	10	300	350	0.8	1.1	50	0.3	0.00600	0.600	1.3	1.9	風速2	B	300.0	×
冬季	1月23日	11	200	300	1.5	2.8	100	1.3	0.01300	1.300	1.3	2.3	風速3	D	200.0	×
冬季	1月23日	12	250	300	3.1	3.4	50	0.3	0.00600	0.600	3.8	5.2	風速5	AB	250.0	×
冬季	1月23日	21	100	150	5.9	6.4	50	0.5	0.01000	1.000	1.4	3.2	風速4	G	100.0	×
冬季	1月23日	24	200	250	5.0	5.2	50	0.2	0.00400	0.400	5.7	10.2	風速7	D	200.0	×
冬季	1月24日	21	200	250	2.5	2.8	50	0.3	0.00600	0.600	2.3	4.4	風速5	F	200.0	×
冬季	1月24日	24	50	100	3.4	3.8	50	0.4	0.00800	0.800	2.9	5.5	風速5	F	50.0	○
春季	4月17日	3	50	300	11.1	12.5	250	1.4	0.00560	0.560	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×
春季	4月17日	4	100	400	11.1	12.1	300	1.0	0.00333	0.333	0.8	1.8	風速2	G	100.0	×
春季	4月17日	5	50	300	11.0	11.8	250	0.8	0.00320	0.320	1.1	2.5	風速3	G	50.0	×
春季	4月17日	6	50	500	10.5	10.9	450	0.4	0.00089	0.089	1.1	2.5	風速3	G	50.0	×
春季	4月17日	7	50	200	11.0	11.7	150	0.7	0.00467	0.467	1.0	1.8	風速2	D	50.0	×
春季	4月17日	8	100	200	12.0	12.1	100	0.1	0.00100	0.100	1.3	2.3	風速3	D	100.0	○
春季	4月17日	9	300	400	11.9	12.5	100	0.6	0.00600	0.600	1.4	2.1	風速3	B	300.0	×
春季	4月17日	10	350	450	11.7	12.5	100	0.8	0.00800	0.800	0.1	0.1	風速0	B	350.0	×
春季	4月17日	18	350	450	10.6	10.8	100	0.2	0.00200	0.200	1.2	2.1	風速3	D	350.0	×
春季	4月17日	24	100	150	12.4	12.6	50	0.2	0.00400	0.400	0.8	1.4	風速2	D	100.0	○
春季	4月18日	4	50	250	10.8	12.1	200	1.3	0.00650	0.650	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×
春季	4月18日	5	50	150	10.1	11.3	100	1.2	0.01200	1.200	0.6	1.4	風速2	G	50.0	×
春季	4月18日	6	50	100	10.3	10.7	50	0.4	0.00800	0.800	1.3	2.3	風速3	D	50.0	○
春季	4月18日	8	350	450	10.3	12.9	100	2.6	0.02600	2.600	1.1	1.5	風速2	AB	350.0	×
春季	4月18日	9	450	600	11.1	12.9	150	1.8	0.01200	1.200	1.1	1.5	風速2	AB	450.0	×
春季	4月18日	10	400	600	12.8	13.5	200	0.7	0.00350	0.350	1.9	2.2	風速3	A	400.0	×
春季	4月18日	18	150	200	18.6	19.0	50	0.4	0.00800	0.800	2.7	6.2	風速6	G	150.0	×
春季	4月18日	21	50	100	16.7	17.0	50	0.3	0.00600	0.600	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○
春季	4月18日	100	50	100	14.5	15.3	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○
春季	4月19日	3	100	150	13.6	14.4	50	0.8	0.01600	1.600	0.7	1.2	風速2	D	100.0	×
春季	4月19日	4	50	100	13.5	14.2	50	0.7	0.01400	1.400	0.9	1.6	風速2	D	50.0	○
春季	4月19日	5	50	100	13.6	14.5	50	0.9	0.01800	1.800	1.1	2.0	風速2	D	50.0	○
春季	4月19日	6	50	100	13.6	14.3	50	0.7	0.01400	1.400	0.9	1.6	風速2	D	50.0	○
春季	4月19日	8	100	200	14.6	14.9	100	0.3	0.00300	0.300	1.0	1.5	風速2	B	100.0	×
春季	4月19日	9	250	300	15.2	15.7	50	0.5	0.01000	1.000	0.6	1.1	風速2	D	250.0	×
春季	4月19日	21	400	450	11.2	11.4	50	0.2	0.00400	0.400	4.9	8.7	風速7	D	400.0	×
春季	4月19日	24	100	150	11.1	11.4	50	0.3	0.00600	0.600	5.0	8.9	風速7	D	100.0	×
春季	4月20日	3	100	350	8.9	10.9	250	2.0	0.00800	0.800	4.5	8.0	風速7	D	100.0	×
春季	4月20日	4	50	100	9.1	9.3	50	0.2	0.00400	0.400	5.4	9.6	風速7	D	50.0	○
春季	4月20日	5	200	300	8.2	10.9	100	2.7	0.02700	2.700	4.7	8.4	風速7	D	200.0	×
春季	4月20日	6	150	300	8.7	11.0	150	2.3	0.01533	1.533	5.1	9.1	風速7	D	150.0	×
春季	4月20日	7	200	350	9.2	10.5	150	1.3	0.00867	0.867	3.8	5.5	風速5	C	200.0	×
春季	4月20日	9	450	600	9.4	10.0	150	0.6	0.00400	0.400	1.9	2.8	風速3	B	450.0	×
春季	4月20日	10	400	450	11.2	11.8	50	0.6	0.01200	1.200	2.4	3.3	風速4	AB	400.0	×
春季	4月21日	4	100	150	12.7	13.4	50	0.7	0.01400	1.400	1.0	1.8	風速2	D	100.0	×
春季	4月21日	6	100	150	12.4	13.2	50	0.8	0.01600	1.600	1.2	2.1	風速3	D	100.0	×
春季	4月21日	7	100	200	12.2	12.9	100	0.7	0.00700	0.700	0.9	1.6	風速2	D	100.0	×
春季	4月22日	4	300	350	15.9	16.1	50	0.2	0.00400	0.400	0.3	0.5	風速1	D	300.0	×
春季	4月22日	5	350	400	16.8	19.2	50	2.4	0.04800	4.800	0.9	1.6	風速2	D	350.0	×
春季	4月22日	6	50	100	16.8	17.2	50	0.4	0.00800	0.800	1.6	2.9	風速3	D	50.0	○
春季	4月22日	8	400	500	15.7	15.9	100	0.2	0.00200	0.200	2.7	3.9	風速4	C	400.0	×
春季	4月22日	18	50	200	16.8	19.2	150	2.4	0.01600	1.600	4.0	7.1	風速6	D	50.0	×
春季	4月22日	21	50	200	16.8	19.2	150	2.4	0.01600	1.600	4.0	7.1	風速6	D	50.0	×
春季	4月22日	24	50	250	15.1	17.9	200	2.8	0.01400	1.400	1.8	4.1	風速5	G	50.0	×
春季	4月23日	3	50	200	14.0	16.9	150	2.9	0.01933	1.933	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×
春季	4月23日	4	50	200	14.0	16.1	150	2.1	0.01400	1.400	1.2	2.7	風速3	G	50.0	×
春季	4月23日	5	100	250	14.0	16.2	150	2.2	0.01467	1.467	0.9	2.1	風速3	G	100.0	×
春季	4月23日	6	50	200	13.8	15.9	150	2.1	0.01400	1.400	1.3	2.3	風速3	D	50.0	×
春季	4月23日	7	100	150	14.6	15.8	50	1.2	0.02400	2.400	0.7	1.2	風速2	D	100.0	×
春季	4月23日	8	150	250	15.2	16.2	100	1.0	0.01000	1.000	1.4	2.1	風速3	B	150.0	×
春季	4月23日	9	200	250	15.9	16.1	50	0.2	0.00400	0.400	1.0	1.5	風速2	B	200.0	×
春季	4月23日	24	50	200	15.1	17.8	150	2.7	0.01800	1.800	0.6	1.1	風速2	D	50.0	×
夏季	7月31日	4	50	150	26.7	27.1	100	0.4	0.00400	0.400	1.5	3.4	風速4	G	50.0	×
夏季	7月31日	6	150	250	26.4	26.9	100	0.5	0.00500	0.500	0.4	0.7	風速1	D	150.0	×
夏季	7月31日	21	150	200	31.5	31.7	50	0.2	0.00400	0.400	1.1	2.5	風速3	G	150.0	×
夏季	8月1日	3	50	100	27.7	28.3	50	0.6	0.01200	1.200	1.3	2.3	風速3	D	50.0	○
夏季	8月1日	4	50	100	27.7	28.7	50	1.0	0.02000	2.000	1.3	3.0	風速3	G	50.0	○
夏季	8月1日	5	50	150	27.1	27.7	100	0.6	0.00600	0.600	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×
夏季	8月1日	8	350	400	26.5	26.8	50	0.3	0.00600	0.600	1.3	1.8	風速2	AB	350.0	×
夏季	8月2日	21	450	500	25.3	25.5	50	0.2	0.00400	0.400	1.4	3.2	風速4	G	450.0	×
夏季	8月3日	8	400	450	24.7	25.0	50	0.3	0.00600	0.600	0.8	1.1	風速2	AB	400.0	×
夏季	8月3日	18	450	500	27.7	28.0	50	0.3	0.00600	0.600	3.5	5.1	風速5	C	450.0	×
秋季	10月24日	4	50	100	18.4	18.9	50	0.5	0.01000	1.000	1.0	1.8	風速2	D	50.0	○
秋季	10月24日	7	50	150	17.9	18.4	100	0.5	0.00500	0.500	1.1	2.0	風速2	D	50.0	○
秋季	10月24日	8	150	250	17.8	18.2	100	0.4	0.00400	0.400	0.7	1.2	風速2	D	150.0	×
秋季	10月24日	9	200	350	17.5	18.4	150	0.9	0.00600	0.600	0.7	1.2	風速2	D	200.0	×

準備書記載事項

表 1-10-1(2)逆転層突き抜け判定結果

出現季節	出現月日	出現時間	出現高度(m)		温度(℃)		層の厚さ(m)	ΔT;温度差(℃)	温位勾配(℃/m)	出現強度(℃/100m)	地上風速(m/s)	U;煙突頂部風速(60mの風	風速階級分類	大気安定度	出現高度(地上0m)	判定
			下限	上限	下限	上限								地上気象より	下限	突抜○,×
秋季	10月24日	24	200	250	15.9	16.1	50	0.2	0.00400	0.400	1.7	3.0	風速4	D	200.0	×
秋季	10月25日	6	450	700	13.5	14.5	250	1.0	0.00400	0.400	2.4	4.3	風速5	D	450.0	×
秋季	10月25日	7	150	200	14.5	14.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.1	3.7	風速4	D	150.0	×
秋季	10月25日	8	450	500	13.6	13.9	50	0.3	0.00600	0.600	0.6	1.1	風速2	D	450.0	×
秋季	10月25日	9	200	250	14.6	14.8	50	0.2	0.00400	0.400	0.3	0.5	風速1	D	200.0	×
秋季	10月25日	18	200	250	17.5	17.7	50	0.2	0.00400	0.400	3.4	6.7	風速6	E	200.0	×
秋季	10月25日	24	100	150	17.8	18.3	50	0.5	0.01000	1.000	5.4	9.6	風速7	D	100.0	×
秋季	10月26日	4	150	200	17.7	17.9	50	0.2	0.00400	0.400	1.8	4.1	風速5	G	150.0	×
秋季	10月26日	5	150	200	17.6	17.9	50	0.3	0.00600	0.600	2.5	4.5	風速5	D	150.0	×
秋季	10月26日	6	100	150	18.0	18.3	50	0.3	0.00600	0.600	2.4	4.8	風速5	E	100.0	×
秋季	10月26日	7	50	150	18.1	19.0	100	0.9	0.00900	0.900	3.5	6.2	風速6	D	50.0	×
秋季	10月26日	8	150	200	18.3	18.6	50	0.3	0.00600	0.600	2.4	4.3	風速5	D	150.0	×
秋季	10月26日	12	450	500	16.8	17.2	50	0.4	0.00800	0.800	4.2	5.9	風速5	CD	450.0	×
秋季	10月26日	18	150	200	19.1	19.3	50	0.2	0.00400	0.400	3.1	6.1	風速6	E	150.0	×
秋季	10月26日	21	150	200	17.4	18.2	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.2	風速2	E	150.0	×
秋季	10月26日	24	100	250	16.6	17.6	150	1.0	0.00667	0.667	1.1	2.0	風速2	D	100.0	×
秋季	10月27日	3	50	100	15.9	16.2	50	0.3	0.00600	0.600	1.8	3.2	風速4	D	50.0	○
秋季	10月27日	4	50	100	15.7	16.1	50	0.4	0.00800	0.800	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○
秋季	10月27日	5	50	100	15.5	16.1	50	0.6	0.01200	1.200	0.7	1.6	風速2	G	50.0	○
秋季	10月27日	6	50	100	15.3	16.1	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○
秋季	10月27日	7	50	150	15.3	15.8	100	0.5	0.00500	0.500	1.2	2.1	風速3	D	50.0	×
秋季	10月27日	8	100	150	15.0	15.5	50	0.5	0.01000	1.000	0.5	0.9	風速1	D	100.0	○
秋季	10月27日	9	300	350	15.4	16.0	50	0.6	0.01200	1.200	1.6	2.9	風速3	D	300.0	×
秋季	10月27日	10	250	300	15.3	16.5	50	1.2	0.02400	2.400	1.2	1.6	風速2	AB	250.0	×
秋季	10月27日	21	50	100	17.1	17.7	50	0.6	0.01200	1.200	2.4	4.6	風速5	F	50.0	○
秋季	10月28日	3	250	300	14.8	15.1	50	0.3	0.00600	0.600	2.1	4.0	風速5	F	250.0	×
秋季	10月28日	4	150	200	15.0	15.2	50	0.2	0.00400	0.400	2.0	3.8	風速4	F	150.0	×
秋季	10月28日	5	50	100	14.9	15.4	50	0.5	0.01000	1.000	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○
秋季	10月28日	6	50	250	14.7	15.5	200	0.8	0.00400	0.400	2.6	5.0	風速5	F	50.0	×
秋季	10月28日	7	150	250	14.2	14.9	100	0.7	0.00700	0.700	2.3	4.1	風速5	D	150.0	×
秋季	10月28日	8	150	200	14.2	14.8	50	0.6	0.01200	1.200	2.2	3.2	風速4	C	150.0	×
秋季	10月28日	9	250	350	15.0	15.8	100	0.8	0.00800	0.800	1.5	2.0	風速3	AB	250.0	×
秋季	10月28日	21	50	150	15.7	17.9	100	2.2	0.02200	2.200	1.5	3.4	風速4	G	50.0	×
秋季	10月28日	24	100	300	14.9	16.4	200	1.5	0.00750	0.750	1.3	2.3	風速3	D	100.0	×
秋季	10月29日	3	50	100	14.5	15.1	50	0.6	0.01200	1.200	0.8	1.4	風速2	D	50.0	○
秋季	10月29日	4	50	100	14.7	15.7	50	1.0	0.02000	2.000	1.8	3.2	風速4	D	50.0	○
秋季	10月29日	5	50	150	14.2	14.8	100	0.6	0.00600	0.600	2.5	4.5	風速5	D	50.0	×
秋季	10月29日	6	50	250	14.0	15.6	200	1.6	0.00800	0.800	2.4	4.3	風速5	D	50.0	×
秋季	10月29日	7	100	150	13.9	14.8	50	0.9	0.01800	1.800	3.5	6.2	風速6	D	100.0	×
秋季	10月29日	9	150	250	13.1	13.8	100	0.7	0.00700	0.700	4.3	7.7	風速6	D	150.0	×
秋季	10月29日	11	250	300	12.8	13.2	50	0.4	0.00800	0.800	3.0	5.3	風速5	D	250.0	×
秋季	10月29日	21	50	150	14.9	15.7	100	0.8	0.00800	0.800	0.6	1.4	風速2	G	50.0	×
秋季	10月29日	24	100	200	13.8	14.4	100	0.6	0.00600	0.600	1.1	2.5	風速3	G	100.0	×
秋季	10月30日	3	50	100	12.0	12.7	50	0.7	0.01400	1.400	1.0	1.8	風速2	D	50.0	○
秋季	10月30日	4	50	150	11.7	12.9	100	1.2	0.01200	1.200	0.8	1.4	風速2	D	50.0	×
秋季	10月30日	5	50	300	12.1	14.3	250	2.2	0.00880	0.880	1.2	2.1	風速3	D	50.0	×
秋季	10月30日	6	100	300	12.0	14.2	200	2.2	0.01100	1.100	0.5	1.1	風速2	G	100.0	×
秋季	10月30日	7	100	300	11.8	14.3	200	2.5	0.01250	1.250	0.3	0.5	風速1	D	100.0	×
秋季	10月30日	8	100	200	12.4	13.5	100	1.1	0.01100	1.100	0.1	0.2	風速0	D	100.0	○
秋季	10月30日	9	150	200	14.0	14.5	50	0.5	0.01000	1.000	0.4	0.5	風速1	AB	150.0	×
秋季	10月30日	10	250	300	15.4	16.6	50	1.2	0.02400	2.400	1.0	1.4	風速2	AB	250.0	×
秋季	10月30日	18	50	100	18.6	18.8	50	0.2	0.00400	0.400	2.1	4.0	風速5	F	50.0	○
秋季	10月30日	21	50	150	16.1	17.6	100	1.5	0.01500	1.500	0.3	0.7	風速1	G	50.0	○
秋季	10月30日	24	50	150	14.5	16.5	100	2.0	0.02000	2.000	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×

評価書記載事項

表 1-10-2(1)逆転層突き抜け判定結果

出現季節	出現月日	出現時間	出現高度(m)		温度(℃)		層の厚さ(m)	ΔT;温度差(℃)	温位勾配(℃/m)	出現強度(℃/100m)	地上風速(m/s)	U;煙突頂部風速(60mの風	風速階級分類	大気安定度	出現高度(地上0m)	判定(準備書)	判定
			下限	上限	下限	上限								地上気象より	下限	突抜○,×	突抜○,×
冬季	1月18日	3	100	150	4.0	4.2	50	0.2	0.00400	0.400	4.9	8.7	風速7	D	100.0	×	×
冬季	1月18日	21	250	300	1.8	2.0	50	0.2	0.00400	0.400	1.3	3.0	風速3	G	250.0	×	×
冬季	1月19日	3	50	100	2.9	3.6	50	0.7	0.01400	1.400	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×	○
冬季	1月19日	4	50	200	2.1	3.3	150	1.2	0.00800	0.800	0.5	1.1	風速2	G	50.0	×	×
冬季	1月19日	5	50	250	1.4	3.1	200	1.7	0.00850	0.850	1.1	2.0	風速2	D	50.0	×	×
冬季	1月19日	6	50	300	0.6	2.7	250	2.1	0.00840	0.840	1.7	3.9	風速4	G	50.0	×	×
冬季	1月19日	7	50	300	-0.5	2.8	250	3.3	0.01320	1.320	0.7	1.6	風速2	G	50.0	×	×
冬季	1月19日	8	50	250	-0.1	2.8	200	2.9	0.01450	1.450	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×	×
冬季	1月19日	9	100	300	1.5	3.4	200	1.9	0.00950	0.950	0.6	0.9	風速1	C	100.0	×	×
冬季	1月19日	10	200	250	3.1	3.6	50	0.5	0.01000	1.000	1.5	2.0	風速3	A-B	200.0	×	×
冬季	1月19日	21	50	100	6.5	6.9	50	0.4	0.00800	0.800	1.0	2.3	風速3	G	50.0	○	○
冬季	1月19日	24	50	250	4.9	6.0	200	1.1	0.00550	0.550	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×	×
冬季	1月20日	3	50	150	4.5	5.5	100	1.0	0.01000	1.000	1.0	2.3	風速3	G	50.0	×	×
冬季	1月20日	4	50	100	4.5	5.2	50	0.7	0.01400	1.400	0.5	0.9	風速1	D	50.0	○	○
冬季	1月20日	5	50	150	4.4	4.8	100	0.4	0.00400	0.400	0.6	1.1	風速2	D	50.0	○	○
冬季	1月20日	6	50	100	4.0	4.6	50	0.6	0.01200	1.200	1.3	2.3	風速3	D	50.0	×	○
冬季	1月20日	7	100	200	3.5	3.9	100	0.4	0.00400	0.400	1.1	2.0	風速2	D	100.0	×	×
冬季	1月20日	10	400	450	2.1	2.4	50	0.3	0.00600	0.600	1.9	3.4	風速4	D	400.0	×	×
冬季	1月20日	11	250	300	2.5	2.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.4	4.3	風速5	D	250.0	×	×
冬季	1月20日	12	400	700	2.8	4.4	300	1.6	0.00533	0.533	1.3	2.3	風速3	D	400.0	×	×
冬季	1月21日	5	50	100	2.5	2.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.4	4.6	風速5	F	50.0	○	○
冬季	1月21日	6	50	100	2.6	2.7	50	0.1	0.00200	0.200	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○	○
冬季	1月21日	7	50	100	2.6	2.7	50	0.1	0.00200	0.200	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○	○
冬季	1月21日	18	50	100	4.6	5.0	50	0.4	0.00800	0.800	3.1	5.5	風速5	D	50.0	○	○
冬季	1月22日	3	50	100	3.6	3.8	50	0.2	0.00400	0.400	1.7	3.9	風速4	G	50.0	○	○
冬季	1月22日	21	50	100	4.6	4.7	50	0.1	0.00200	0.200	1.9	3.4	風速4	D	50.0	○	○
冬季	1月22日	24	50	100	2.5	3.8	50	1.3	0.02600	2.600	1.3	2.6	風速3	E	50.0	○	○
冬季	1月23日	3	50	150	1.0	2.0	100	1.0	0.01000	1.000	0.6	1.4	風速2	G	50.0	×	×
冬季	1月23日	4	50	100	0.8	1.1	50	0.3	0.00600	0.600	0.5	1.1	風速2	G	50.0	○	○
冬季	1月23日	5	50	150	0.6	1.3	100	0.7	0.00700	0.700	1.4	3.2	風速4	G	50.0	×	×
冬季	1月23日	6	50	100	0.2	1.0	50	0.8	0.01600	1.600	0.8	1.8	風速2	G	50.0	○	○
冬季	1月23日	7	50	200	0.3	1.4	150	1.1	0.00733	0.733	1.1	2.0	風速2	D	50.0	×	×
冬季	1月23日	8	50	250	-0.1	0.5	200	0.6	0.00300	0.300	0.5	0.9	風速1	D	50.0	○	×
冬季	1月23日	9	100	150	0.8	1.0	50	0.2	0.00400	0.400	1.4	3.2	風速4	G	100.0	×	×
冬季	1月23日	10	300	450	0.8	1.5	150	0.7	0.00467	0.467	1.3	1.9	風速2	B	300.0	×	×
冬季	1月23日	11	200	300	1.5	2.8	100	1.3	0.01300	1.300	1.3	2.3	風速3	D	200.0	×	×
冬季	1月23日	12	250	300	3.1	3.4	50	0.3	0.00600	0.600	3.8	5.2	風速5	A-B	250.0	×	×
冬季	1月23日	21	100	250	5.9	6.6	150	0.7	0.00467	0.467	1.4	3.2	風速4	G	100.0	×	×
冬季	1月23日	24	200	250	5.0	5.2	50	0.2	0.00400	0.400	5.7	10.2	風速7	D	200.0	×	×
冬季	1月24日	21	200	250	2.5	2.8	50	0.3	0.00600	0.600	2.3	4.4	風速5	F	200.0	×	×
冬季	1月24日	24	50	100	3.4	3.8	50	0.4	0.00800	0.800	2.9	5.5	風速5	F	50.0	○	○
春季	4月17日	3	50	250	11.1	12.4	200	1.3	0.00650	0.650	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×	×
春季	4月17日	4	100	200	11.1	12.0	100	0.9	0.00900	0.900	0.8	1.8	風速2	G	100.0	×	×
春季	4月17日	5	50	300	11.0	11.8	250	0.8	0.00320	0.320	1.1	2.5	風速3	G	50.0	×	×
春季	4月17日	6	50	150	10.5	11.9	100	1.4	0.01400	1.400	1.1	2.5	風速3	G	50.0	×	×
春季	4月17日	7	50	150	11.0	11.7	100	0.7	0.00700	0.700	1.0	1.8	風速2	D	50.0	×	×
春季	4月17日	8	50	100	11.8	12.0	50	0.2	0.00400	0.400	1.3	2.3	風速3	D	50.0	○	○
春季	4月17日	9	300	400	11.9	12.5	100	0.6	0.00600	0.600	1.4	2.1	風速3	B	300.0	×	×
春季	4月17日	10	350	450	11.7	12.5	100	0.8	0.00800	0.800	0.1	0.1	風速0	B	350.0	×	×
春季	4月17日	18	350	450	10.6	10.8	100	0.2	0.00200	0.200	1.2	2.1	風速3	D	350.0	×	×
春季	4月17日	24	100	150	12.4	12.6	50	0.2	0.00400	0.400	0.8	1.4	風速2	D	100.0	○	○
春季	4月18日	4	100	250	10.8	12.1	150	1.3	0.00867	0.867	0.8	1.8	風速2	G	100.0	×	×
春季	4月18日	5	50	350	10.1	11.9	300	1.8	0.00600	0.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	×	×
春季	4月18日	6	50	200	10.3	11.0	150	0.7	0.00467	0.467	1.3	2.3	風速3	D	50.0	○	×
春季	4月18日	7	50	100	11.0	11.2	50	0.2	0.00400	0.400	1.5	2.2	風速3	B	50.0	○	○
春季	4月18日	8	350	450	10.3	12.9	100	2.6	0.02600	2.600	1.1	1.5	風速2	A-B	350.0	×	×
春季	4月18日	9	450	600	11.1	12.9	150	1.8	0.01200	1.200	1.1	1.5	風速2	A-B	450.0	×	×
春季	4月18日	10	450	500	12.9	13.5	50	0.6	0.01200	1.200	1.9	2.2	風速3	A	450.0	×	×
春季	4月18日	18	150	200	18.6	19.0	50	0.4	0.00800	0.800	2.7	6.2	風速6	G	150.0	×	×
春季	4月18日	21	50	100	16.7	17.0	50	0.3	0.00600	0.600	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○	○
春季	4月18日	24	50	100	14.5	15.3	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○	○
春季	4月19日	3	100	150	13.6	14.4	50	0.8	0.01600	1.600	0.7	1.2	風速2	D	100.0	×	×
春季	4月19日	4	50	200	13.5	14.5	150	1.0	0.00667	0.667	0.9	1.6	風速2	D	50.0	○	×
春季	4月19日	5	50	100	13.6	14.5	50	0.9	0.01800	1.800	1.1	2.0	風速2	D	50.0	○	○
春季	4月19日	6	50	100	13.6	14.3	50	0.7	0.01400	1.400	0.9	1.6	風速2	D	50.0	○	○
春季	4月19日	7	50	100	13.9	14.1	50	0.2	0.00400	0.400	1.4	2.5	風速3	D	50.0	○	○
春季	4月19日	8	150	200	14.7	14.9	50	0.2	0.00400	0.400	1.0	1.5	風速2	B	150.0	×	×
春季	4月19日	9	250	300	15.2	15.7	50	0.5	0.01000	1.000	0.6	1.1	風速2	D	250.0	×	×
春季	4月19日	21	400	450	11.4	11.8	50	0.4	0.00800	0.800	4.9	8.7	風速7	D	400.0	×	×
春季	4月19日	24	100	150	11.1	11.4	50	0.3	0.00600	0.600	5.0	8.9	風速7	D	100.0	×	×
春季	4月20日	3	100	350	8.9	10.9	250	2.0	0.00800	0.800	4.5	8.0	風速7	D	100.0	×	×
春季	4月20日	4	50	250	9.1	10.8	200	1.7	0.00850	0.850	5.4	9.6	風速7	D	50.0	○	×
春季	4月20日	5	200	300	8.2	10.9	100	2.7	0.02700	2.700	4.7	8.4	風速7	D	200.0	×	×
春季	4月20日	6	150	300	8.7	11.0	150	2.3	0.01533	1.533	5.1	9.1	風速7	D	150.0	×	×
春季	4月20日	7	200	350	9.2	10.5	150	1.3	0.00867	0.867	3.8	5.5	風速5	C	200.0	×	×
春季	4月20日	9	450	600	9.4	10.0	150	0.6	0.00400	0.400	1.9	2.8	風速3	B	450.0	×	×
春季	4月20日	10	400	450	11.2	11.8	50	0.6	0.01200	1.200	2.4	3.3	風速4	A-B	400.0	×	×
春季	4月20日	24	50	200	13.2	13.8	150	0.6	0.00400	0.400	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○	×
春季	4月21日	4	100	150	12.7	13.4	50	0.7	0.01400	1.400	1.0	1.8	風速2	D	100.0	×	×
春季	4月21日	5	50	100	12.7	13.3	50	0.6	0.01200	1.200	0.6	1.1	風速2	D	50.0	○	○
春季	4月21日	6	100	150	12.4	13.2	50	0.8	0.01600	1.600	1.2	2.1	風速3	D	100.0	×	×
春季	4月21日	7	100	200	12.2	12.9	100	0.7	0.00700	0.700	0.9	1.6	風速2	D	100.0	×	×
春季	4月22日	4	300	350	15.9	16.1	50	0.2	0.00400	0.400	0.3	0.5	風速1	D	300.0	×	×
春季	4月22日	5	350	400	15.9	16.2	50	0.3	0.00600	0.600	0.9	1.6	風速2	D	350.0	×	×
春季	4月22日	6	50	100	16.8	17.2	50	0.4	0.00800	0.800	1.6	2.9	風速3	D	50.0	○	○
春季	4月22日	8	400	500	15.7	15.9	100	0.2	0.00200	0.200	2.7	3.9	風速4	C	400.0	×	×
春季	4月22日	18	250	350	18.3	20.3	100	2.0	0.02000	2.000	5.1	9.1	風速7	D	250.0	×	×
春季	4月22日	21	50	200	16.8	19.2	150	2.4	0.01600	1.600	4.0	7.1	風速6	D	50.0	×	×
春季	4月22日	24	50	200	15.1	17.8	150	2.7	0.01800	1.800	1.8	4.1	風速5	G	50.0	×	×
春季	4月23日	3	50	200	14.0	16.9	150	2.9	0.01933	1.933	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×	×
春季	4月23日	4	50	200	14.0	16.1	150	2.1	0.01400	1.400	1.2	2.7	風速3	G	50.0	×	×
春季	4月23日	5	100	350	14.0	16.3	250	2.3	0.00920	0.920	0.9	2.1	風速3	G	100.0	×	×
春季	4月23日	6	50	300	13.8	16.1	250	2.3	0.00920	0.920	1.3	2.3	風速3	D	50.0	×	×
春季	4月23日	7	100	150	14.6	15.8	50	1.2	0.02400	2.400	0.7	1.2	風速2	D	100.0	×	×
春季	4月23日	8	150	250	15.2	16.2	100	1.0	0.01000	1.000	1.4	2.1	風速3	B	150.0	×	×
春季	4月23日	9	200	250	15.9	16.1	50	0.2	0.00400	0.400	1.0	1.5	風速2	B	200.0	×	×
春季	4月23日	24	50	200	15.1	17.8	150	2.7	0.01800	1.800	0.6	1.1	風速2	D	50.0	×	×

評価書記載事項

表 1-10-2(2)逆転層突き抜け判定結果

出現季節	出現月日	出現時間	出現高度(m)		温度(℃)		層の厚さ(m)	ΔT;温度差(℃)	温位勾配(℃/m)	出現強度(℃/100m)	地上風速(m/s)	U;煙突頂部風速(60mの風	風速階級分類	大気安定度 地上気象より	出現高度(地上0m)	判定(準備書)	判定
			下限	上限	下限	上限									下限	突抜○,×	突抜○,×
夏季	7月31日	4	50	150	26.7	27.1	100	0.4	0.00400	0.400	1.5	3.4	風速4	G	50.0	×	×
夏季	7月31日	5	50	100	26.7	27.0	50	0.3	0.00600	0.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○	○
夏季	7月31日	6	150	250	26.4	26.9	100	0.5	0.00500	0.500	0.4	0.7	風速1	D	150.0	×	×
夏季	7月31日	21	150	200	31.5	31.7	50	0.2	0.00400	0.400	1.1	2.5	風速3	G	150.0	×	×
夏季	7月31日	24	50	100	29.5	29.8	50	0.3	0.00600	0.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○	○
夏季	8月1日	3	50	200	27.7	28.5	150	0.8	0.00533	0.533	1.7	3.0	風速4	D	50.0	○	×
夏季	8月1日	4	50	100	27.7	28.7	50	1.0	0.02000	2.000	1.3	3.0	風速3	G	50.0	○	○
夏季	8月1日	5	50	150	27.1	27.7	100	0.6	0.00600	0.600	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×	×
夏季	8月1日	6	50	100	27.9	28.1	50	0.2	0.00400	0.400	1.6	2.9	風速3	D	50.0	○	○
夏季	8月1日	7	50	100	27.6	27.8	50	0.2	0.00400	0.400	1.8	2.7	風速3	B	50.0	○	○
夏季	8月1日	8	350	400	26.5	26.8	50	0.3	0.00600	0.600	1.3	1.8	風速2	A-B	350.0	×	×
夏季	8月2日	6	50	100	27.6	27.8	50	0.2	0.00400	0.400	1.1	2.0	風速2	D	50.0	○	○
夏季	8月2日	21	450	500	25.3	25.5	50	0.2	0.00400	0.400	1.4	3.2	風速4	G	450.0	×	×
夏季	8月3日	8	400	450	24.7	25.0	50	0.3	0.00600	0.600	0.8	1.1	風速2	A-B	400.0	×	×
夏季	8月3日	18	450	500	27.7	28.0	50	0.3	0.00600	0.600	3.5	5.1	風速5	C	450.0	×	×
秋季	10月24日	4	50	100	18.4	18.9	50	0.5	0.01000	1.000	1.0	1.8	風速2	D	50.0	○	○
秋季	10月24日	7	50	250	17.9	18.9	200	1.0	0.00500	0.500	1.1	2.0	風速2	D	50.0	○	×
秋季	10月24日	8	150	250	17.8	18.2	100	0.4	0.00400	0.400	0.7	1.2	風速2	D	150.0	×	×
秋季	10月24日	9	200	350	17.5	18.4	150	0.9	0.00600	0.600	0.7	1.2	風速2	D	200.0	×	×
秋季	10月24日	24	200	350	15.9	16.0	150	0.1	0.00067	0.067	1.7	3.0	風速4	D	200.0	×	×
秋季	10月25日	6	450	700	13.5	14.5	250	1.0	0.00400	0.400	2.4	4.3	風速5	D	450.0	×	×
秋季	10月25日	7	150	200	14.5	14.7	50	0.2	0.00400	0.400	2.1	3.7	風速4	D	150.0	×	×
秋季	10月25日	8	450	500	13.6	13.9	50	0.3	0.00600	0.600	0.6	1.1	風速2	D	450.0	×	×
秋季	10月25日	9	200	250	14.6	14.8	50	0.2	0.00400	0.400	0.3	0.5	風速1	D	200.0	×	×
秋季	10月25日	18	200	250	17.5	17.7	50	0.2	0.00400	0.400	3.4	6.7	風速6	E	200.0	×	×
秋季	10月25日	24	100	150	17.8	18.3	50	0.5	0.01000	1.000	5.4	9.6	風速7	D	100.0	×	×
秋季	10月26日	4	150	200	17.7	17.9	50	0.2	0.00400	0.400	1.8	4.1	風速5	G	150.0	×	×
秋季	10月26日	5	150	200	17.6	17.9	50	0.3	0.00600	0.600	2.5	4.5	風速5	D	150.0	×	×
秋季	10月26日	6	100	150	18.0	18.3	50	0.3	0.00600	0.600	2.4	4.8	風速5	E	100.0	×	×
秋季	10月26日	7	50	150	18.1	19.0	100	0.9	0.00900	0.900	3.5	6.2	風速6	D	50.0	×	×
秋季	10月26日	8	150	200	18.3	18.6	50	0.3	0.00600	0.600	2.4	4.3	風速5	D	150.0	×	×
秋季	10月26日	12	450	500	16.8	17.2	50	0.4	0.00800	0.800	4.2	5.9	風速5	C-D	450.0	×	×
秋季	10月26日	18	150	200	19.1	19.3	50	0.2	0.00400	0.400	3.1	6.1	風速6	E	150.0	×	×
秋季	10月26日	21	150	200	17.4	18.2	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.2	風速2	E	150.0	×	×
秋季	10月26日	24	100	250	16.6	17.9	150	1.3	0.00867	0.867	1.1	2.0	風速2	D	100.0	×	×
秋季	10月27日	3	50	100	15.9	16.2	50	0.3	0.00600	0.600	1.8	3.2	風速4	D	50.0	○	○
秋季	10月27日	4	50	100	15.7	16.1	50	0.4	0.00800	0.800	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○	○
秋季	10月27日	5	50	200	15.5	16.9	150	1.4	0.00933	0.933	0.7	1.6	風速2	G	50.0	○	×
秋季	10月27日	6	50	100	15.3	16.1	50	0.8	0.01600	1.600	0.6	1.4	風速2	G	50.0	○	○
秋季	10月27日	7	100	150	15.4	15.8	50	0.4	0.00800	0.800	1.2	2.1	風速3	D	100.0	×	×
秋季	10月27日	8	100	150	15.0	15.5	50	0.5	0.01000	1.000	0.5	0.9	風速1	D	100.0	○	○
秋季	10月27日	9	300	350	15.4	16.0	50	0.6	0.01200	1.200	1.6	2.9	風速3	D	300.0	×	×
秋季	10月27日	10	250	300	15.3	16.5	50	1.2	0.02400	2.400	1.2	1.6	風速2	A-B	250.0	×	×
秋季	10月27日	21	50	100	17.1	17.7	50	0.6	0.01200	1.200	2.4	4.6	風速5	F	50.0	○	○
秋季	10月28日	3	250	300	14.8	15.1	50	0.3	0.00600	0.600	2.1	4.0	風速5	F	250.0	×	×
秋季	10月28日	4	150	200	15.0	15.2	50	0.2	0.00400	0.400	2.0	3.8	風速4	F	150.0	×	×
秋季	10月28日	5	50	100	14.9	15.4	50	0.5	0.01000	1.000	1.8	4.1	風速5	G	50.0	○	○
秋季	10月28日	6	50	250	14.7	15.5	200	0.8	0.00400	0.400	2.6	5.0	風速5	F	50.0	×	×
秋季	10月28日	7	150	250	14.2	14.9	100	0.7	0.00700	0.700	2.3	4.1	風速5	D	150.0	×	×
秋季	10月28日	8	150	200	14.2	14.8	50	0.6	0.01200	1.200	2.2	3.2	風速4	C	150.0	×	×
秋季	10月28日	9	250	350	15.0	15.8	100	0.8	0.00800	0.800	1.5	2.0	風速3	A-B	250.0	×	×
秋季	10月28日	21	50	150	15.7	17.9	100	2.2	0.02200	2.200	1.5	3.4	風速4	G	50.0	×	×
秋季	10月28日	24	100	300	14.9	16.4	200	1.5	0.00750	0.750	1.3	2.3	風速3	D	100.0	×	×
秋季	10月29日	3	50	100	14.5	15.1	50	0.6	0.01200	1.200	0.9	1.6	風速2	D	50.0	○	○
秋季	10月29日	4	50	100	14.7	15.7	50	1.0	0.02000	2.000	0.6	1.1	風速2	D	50.0	○	○
秋季	10月29日	5	50	250	14.2	15.0	200	0.8	0.00400	0.400	0.9	1.6	風速2	D	50.0	×	×
秋季	10月29日	6	50	250	14.0	15.6	200	1.6	0.00800	0.800	1.2	2.1	風速3	D	50.0	×	×
秋季	10月29日	7	100	150	13.9	14.8	50	0.9	0.01800	1.800	0.8	1.4	風速2	D	100.0	×	×
秋季	10月29日	9	150	250	13.1	13.8	100	0.7	0.00700	0.700	0.3	0.5	風速1	D	150.0	×	×
秋季	10月29日	11	250	300	12.8	13.2	50	0.4	0.00800	0.800	0.4	0.7	風速1	D	250.0	×	×
秋季	10月29日	21	50	150	14.9	15.7	100	0.8	0.00800	0.800	0.8	1.8	風速2	G	50.0	×	×
秋季	10月29日	24	100	200	13.8	14.4	100	0.6	0.00600	0.600	1.0	2.3	風速3	G	100.0	×	×
秋季	10月30日	3	50	100	12.0	12.7	50	0.7	0.01400	1.400	1.0	1.8	風速2	D	50.0	○	○
秋季	10月30日	4	50	150	11.7	12.9	100	1.2	0.01200	1.200	0.8	1.4	風速2	D	50.0	×	×
秋季	10月30日	5	50	300	12.1	14.3	250	2.2	0.00880	0.880	1.2	2.1	風速3	D	50.0	×	×
秋季	10月30日	6	100	400	12.0	14.3	300	2.3	0.00767	0.767	0.5	1.1	風速2	G	100.0	×	×
秋季	10月30日	7	100	300	11.8	14.7	200	2.9	0.01450	1.450	0.3	0.5	風速1	D	100.0	×	×
秋季	10月30日	8	100	450	12.4	14.7	350	2.3	0.00657	0.657	0.1	0.2	風速0	D	100.0	○	×
秋季	10月30日	9	150	300	14.0	15.3	150	1.3	0.00867	0.867	0.4	0.5	風速1	A-B	150.0	×	×
秋季	10月30日	10	250	300	15.4	16.6	50	1.2	0.02400	2.400	1.0	1.4	風速2	A-B	250.0	×	×
秋季	10月30日	18	50	100	18.6	18.8	50	0.2	0.00400	0.400	2.1	4.0	風速5	F	50.0	○	○
秋季	10月30日	21	50	150	16.1	17.6	100	1.5	0.01500	1.500	0.3	0.7	風速1	G	50.0	○	○
秋季	10月30日	24	50	150	14.5	16.5	100	2.0	0.02000	2.000	1.3	3.0	風速3	G	50.0	×	×

「資料編　資料 1-12　工事機械の大気質予測時期の設定」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
資料 1-165 ～ 166		記載なし	予測対象時期の選定にあたっては、各月で使用される工事機械による大気汚染物質排出量（窒素酸化物及び浮遊粒子状物質）を算出し、その 12 か月間の移動平均が最も高くなった時期を検討ケースとした。 各月の工事機械の種類、台数、各月の 1 日当たりの大気汚染物質排出量及びその月から 12 か月間の大気汚染物質排出量の移動平均値を表 1-12-1 に示す。 大気汚染物質排出量の移動平均が最も高くなった時期は工事開始後、15 か月から 26 か月目となった。	県関係課からの意見に対応して、工事機械の影響について予測条件の見直しを行った。 準備書では影響が最大となる 1 か月の稼働台数を 12 か月連続稼働という条件としたが、条件が過大と考えられたため、影響が最大となる 12 か月間の稼働台数を予測条件とした。

評価書記載事項

表 1-12-1 工事機械の種類及び大気汚染物質排出量

工種	工事機械	規格	NOx排出強度 (g/台・h)	SPM排出強度 (g/台・h)	定格出力 (kW)	事業年度1年目												事業年度2年目												事業年度3年目												事業年度4年目											
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
造成工事	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ	16t	294.2	12.0	100							1	1	1	1	1																																					
	振動ローラ	12t	304.6	12.4	99							1	1	1	1	1																																					
仮設工事	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	25t	274.2	11.2	162												1																	1																		
	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	50t	422.6	12.0	249																																														
	ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.4m³	188.3	7.7	64												2																	2																	
	ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.7m³	306.0	12.5	104																																														
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車	4.5m³	2319.9	65.7	243												2																	2																	
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車	85m³	249.7	7.1	166												1																	1																	
工場棟本体工事	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	25t	275.0	7.8	162													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1
	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	50t	422.6	12.0	249																	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1								
	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	197.9	5.6	135																1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	200t	316.6	9.0	216																		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
	ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.4m³	188.3	7.7	64																														1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2			
	ﾊﾞｯｸﾎｰ	0.7m³	350.0	14.3	104													2	3	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1												1	1				
	ﾊﾞｯｸﾎｰ	1.6m³	553.5	15.7	164													2	2	2	2	2																														
	ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏｰ	75kW	358.3	15.9	55																																														
	杭打機		171.6	7.0	105													2	2	2	2	2																														
	削孔機	60kW	503.1	20.5	60														1	1	1	1																														
	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ	3t	94.8	4.2	29													1	1	1	1	1																											1	1			
	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗｰ	10t	161.1	6.6	71																																												1	1			
	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬｰ	3.6m²	122.4	5.4	39																																											1	1			
	ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	50.5	2.1	71													1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾐｷｻｰ車	4.5m³	2319.9	65.7	243																		10	25	25	25	25	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	10	10	10	10	10	5	5	10	10	10						
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車	85m³	249.7	7.1	166																		1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						
ブラント工事	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	350t	469.1	13.3	320																														1	1	1	1	1	1	1	1	1									
	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	100t	197.9	5.6	135																															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	25t	275.0	7.8	162																															2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1		
	ﾗﾌﾃｨｸﾚｰﾝ	50t	422.6	12.0	249																															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ	2.5t	50.5	2.1	71																															1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	
全機械の合計稼働台数（台/日）												2	2	2	2	2	6	9	11	11	11	22	34	34	34	34	29	29	29	29	29	29	29	29	35	34	35	35	23	23	23	23	23	18	17	22	20	22	14	8	3	2	2	
窒素酸化物排出量（kg/日）												38.3	38.3	38.3	38.3	38.3	94.8	164.5	219.1	219.1	209.4	411.0	626.2	626.2	626.2	626.2	533.4	533.4	533.4	533.4	533.4	533.4	533.4	533.4	628.2	628.9	641.6	631.2	402.6	402.6	402.6	402.6	402.6	292.8	267.7	360.5	320.8	355.2	177.9	86.7	38.4	20.8	20.8	0.0
窒素酸化物排出量の12か月移動平均（Kg/日）						先頭月から12か月						178.0	227.0	275.9	324.9	366.2	407.5	444.0	474.7	500.9	527.1	554.1	572.2	572.5	573.7	574.2	555.5	544.6	533.7	522.8	511.9	491.9	469.7	455.3	429.7	406.9	368.2	322.9	292.5	260.7	228.9	195.3	176.5	164.9	153.5	127.6	100.0	57.4	33.4	20.0	13.9	10.4	0.0
浮遊粒子状物質排出量（kg/日）												1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	3.2	5.6	7.8	7.8	7.3	13.0	18.0	18.0	18.0	18.0	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	18.6	18.2	18.5	18.1	11.6	11.6	11.6	11.6	11.6	8.6	7.8	10.5	9.3	10.8	6.1	3.1	1.1	0.6	0.6	0.0
浮遊粒子状物質排出量の12か月移動平均（kg/日）						先頭月から12か月						5.9	7.3	8.6	10.0	11.2	12.3	13.3	14.2	14.8	15.4	16.1	16.6	16.6	16.6	16.6	16.1	15.8	15.4	15.1	14.8	14.2	13.6	13.2	12.4	11.8	10.8	9.5	8.7	7.7	6.8	5.9	5.3	5.0	4.7	4.0	3.2	1.9	1.1	0.6	0.4	0.3	0.0

「資料編　資料 5-2　反射障害机上検討結果」について

頁	位置	準備書記載事項	評価書記載事項	理由
資料 5-8～9		記載なし	地上デジタルテレビ電波の反射障害机上検討結果を表 5-2-1～表 5-2-2 に示す。 特定点及び反射面から 750m までの 50m 間隔の任意点のすべてにおいて、D/U は DUp を上回ることから、反射障害は発生しないと予測した。なお、特定点は都市減衰及び反射面へ入射する電波の仰角等により減衰特性が異なることから反射障害範囲の図化にあたり、その開始点が計算される点である。反射霜害範囲及び特定点の模式図を図 5-2-1 に示す	「知事意見　個別事項(電波障害)」に対応して電波障害については、根拠及び出典等を明記した結果、反射障害の机上検討結果を追記した。

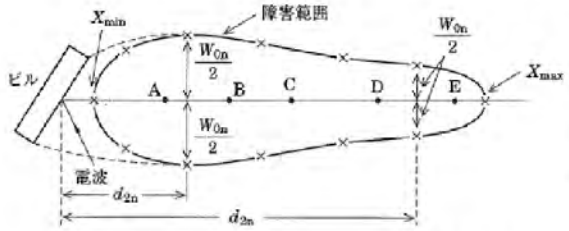
評価書記載事項

表 5-2-1　地上デジタルテレビ電波の反射障害机上検討結果(特定点)

特定点	名古屋局								
	NHK 教育			東海テレビ			中京テレビ		
	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)
A 点	549	0.0	22.0	586	0.0	22.6	577	0.0	22.4
B 点	9,580	0.0	58.1	10,552	0.0	59.2	10,309	0.0	58.5
C 点	1,485	0.0	27.5	1,584	0.0	28.2	1,560	0.0	27.9
D 点	1,364	0.0	26.4	1,434	0.0	26.9	1,434	0.0	26.7
E 点	1,865	0.0	32.6	2,054	0.0	34.1	2,007	0.0	33.6

特定点	名古屋局								
	CBC テレビ			名古屋テレビ			テレビ愛知		
	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)
A 点	572	0.0	22.3	591	0.0	22.7	595	0.0	22.9
B 点	10,188	0.0	58.2	10,674	0.0	59.5	10,795	0.0	59.5
C 点	1,547	0.0	27.7	1,596	0.0	28.4	1,607	0.0	28.3
D 点	1,434	0.0	26.7	1,434	0.0	27.0	1,494	0.0	27.2
E 点	1,983	0.0	33.3	2,078	0.0	34.4	2,101	0.0	34.3

特定点	岐阜局					
	NHK 総合			岐阜放送		
	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)	距離 (m)	DUp (dB)	D/U (dB)
A 点	621	0.0	23.9	625	0.0	24.0
B 点	3,646	0.0	48.6	3,685	0.0	49.2
C 点	1,679	0.0	34.5	1,689	0.0	34.1
D 点	895	0.0	24.9	1,006	0.0	26.6
E 点	2,243	0.0	41.3	2,267	0.0	41.2



A 点：都市減衰を考慮した反射面縦幅が有限長のために生じる減衰の開始点
B 点：反射面横幅が有限長のために生じる減衰の開始点
C 点：都市減衰を考慮した反射波の大地反射波の位相合成による減衰の開始点
D 点：反射面へ入射する電波の仰角による反射面垂直指向性補正開始点
E 点：反射面へ入射する電波の仰角による反射面垂直指向性補正終了点

図 5-2-1　反射障害範囲及び特定点の模式図

出典：「CATV エキスパート技術者テキスト(受信調査)」(一般社団法人日本 CATV 技術協会)

評価書記載事項

表 5-2-2 地上デジタルテレビ電波の反射障害机上検討結果(任意点)

距離 (m)	名古屋局							
	NHK 教育		東海テレビ		中京テレビ		CBC テレビ	
	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)
50	0.0	21.7	0.0	22.4	0.0	22.2	0.0	22.1
100	0.0	21.8	0.0	22.4	0.0	22.2	0.0	22.1
150	0.0	21.8	0.0	22.4	0.0	22.2	0.0	22.1
200	0.0	21.8	0.0	22.5	0.0	22.3	0.0	22.1
250	0.0	21.8	0.0	22.5	0.0	22.3	0.0	22.2
300	0.0	21.8	0.0	22.5	0.0	22.3	0.0	22.2
350	0.0	21.9	0.0	22.5	0.0	22.3	0.0	22.2
400	0.0	21.9	0.0	22.6	0.0	22.3	0.0	22.2
450	0.0	21.9	0.0	22.6	0.0	22.4	0.0	22.2
500	0.0	21.9	0.0	22.6	0.0	22.4	0.0	22.3
550	0.0	22.0	0.0	22.6	0.0	22.4	0.0	22.3
600	0.0	22.4	0.0	22.7	0.0	22.6	0.0	22.5
650	0.0	22.7	0.0	23.1	0.0	23.0	0.0	22.9
700	0.0	23.1	0.0	23.5	0.0	23.3	0.0	23.2
750	0.0	23.4	0.0	23.8	0.0	23.6	0.0	23.6

距離 (m)	名古屋局				岐阜局			
	名古屋テレビ		テレビ愛知		NHK 総合		岐阜放送	
	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)	DUp (dB)	D/U (dB)
50	0.0	22.5	0.0	22.6	0.0	23.5	0.0	23.4
100	0.0	22.5	0.0	22.6	0.0	23.6	0.0	23.4
150	0.0	22.5	0.0	22.7	0.0	23.6	0.0	23.5
200	0.0	22.6	0.0	22.7	0.0	23.7	0.0	23.5
250	0.0	22.6	0.0	22.7	0.0	23.7	0.0	23.6
300	0.0	22.6	0.0	22.7	0.0	23.6	0.0	23.7
350	0.0	22.6	0.0	22.8	0.0	23.7	0.0	23.7
400	0.0	22.7	0.0	22.8	0.0	23.7	0.0	23.8
450	0.0	22.7	0.0	22.8	0.0	23.8	0.0	23.8
500	0.0	22.7	0.0	22.8	0.0	23.8	0.0	23.9
550	0.0	22.7	0.0	22.8	0.0	23.9	0.0	24.0
600	0.0	22.8	0.0	22.9	0.0	24.0	0.0	24.0
650	0.0	23.2	0.0	23.3	0.0	24.2	0.0	24.2
700	0.0	23.5	0.0	23.6	0.0	24.6	0.0	24.6
750	0.0	23.8	0.0	23.9	0.0	25.7	0.0	25.0